

# 病院だより

Vol.372

SHOWA Medical University Fujigaoka Hospital

新体制で迎える2025年度

## 新病院長からのご挨拶



### Pick Up

#### —就任のご挨拶—

藤が丘病院病院長	鈴木 洋
救命救急センター長	宮本 和幸
看護部長	樋口 恵子
事務長	鈴木 健司

#### —退任のご挨拶—

前 藤が丘病院病院長	高橋 寛
------------	------

### 受賞

日本病態栄養学会年次学術大会  
レシピコンテストで最優秀賞を受賞  
栄養科 松井 遥

### 特集

遺伝の相談窓口「遺伝カウンセリング」  
臨床遺伝・ゲノム医療センター  
臨床遺伝専門医 佐藤 芳憲  
認定遺伝カウンセラー 市川 眞琴

### Topics

「呼吸器外科医が語る日本酒の話  
(アスペルギルスについて)」  
呼吸器外科 吉田 勤



SHOWA Medical University Fujigaoka Rehabilitation Hospital

April

4

月号



昭和医科大学

令和7年4月1日付で昭和医科大学藤が丘病院病院長に就任いたしました鈴木 洋です。

私の専門は循環器内科であり、循環器救急医療を中心に診療を行いながら、前病院長である高橋寛先生のもとで6年間副院長を務めて参りました。

昭和大学は今年度より昭和医科大学と校名変更をします。医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部を擁する医系総合大学であるということを校名からも発信し、社会に貢献できる優れた医療人を育成する大学として更なる発展を目指します。この様な節目の年に病院長を拝命し責任の重さを痛感しております。



藤が丘病院病院長  
すずき ひろし

鈴木 洋

藤が丘病院の重要な役割として、横浜市北部地域の地域医療支援病院としての機能があります。スムーズな患者の受け入れを実現し、一人の患者さんを当院とかけつけ医の先生とで診療をする二人主治医制をより推進していきます。一方、当院は救急指定病院（2次、3次）として救命救急センターを開設しております。横浜市のみならず他地域からの重症患者を積極的に受け入れており、心臓ホットラインや脳卒中ホットラインも設け、24時間迅速な救急医療を提供できる体制を整えておりますが、今後さらなる充実を図ります。また、横浜市の災害拠点病院でもある当院は、発災時の拠点として毎年大規模な防災訓練を行政や医師会の方々のご協力を得て実施しており、現在は一部の病院建物の耐震補強工事も実施中です。

藤が丘病院は、1975年7月に開院し今年で開院50周年を迎える節目の年ですが、老朽化が進み病院機能にも影響がはじめており建替え計画が進んでいます。現在、藤が丘駅前地区再整備基本計画のもとに、駅前施設・病院・公園が一体となった新たなまちづくり計画が進行しており、病院を含めた藤が丘駅前地区の活性化が期待されています。

今後も藤が丘リハビリテーション病院と一体となり、職員一同とともに地域の医療の発展に貢献したいと思っておりますのでご協力をよろしくお願い致します。

2025年4月1日より、昭和大学は昭和医科大学へ校名を変更しております

- 変更前の病院名：昭和大学 藤が丘病院  
昭和大学 藤が丘リハビリテーション病院
- 変更後の病院名：昭和医科大学 藤が丘病院  
昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院

私は1978年に昭和大学医学部を卒業しました。大学卒業後は昭和大学藤が丘病院の内科レジデントとして勤務しました。藤が丘病院の内科レジデントは2年間の研修の間に内科、小児科、放射線科、選択として麻酔科をローテーションします。B棟7階にレジデントルームがあり、最初の1年間はレジデントルームに寝泊まりしなければなりません。

レジデントを終了後は消化器内科（菅田文夫教授）を専門としました。専門分野では藤田力也教授（現名誉教授）より“微小胃癌の内視鏡診断”という研究テーマを与えられました。現在使われている電子内視鏡と違ってファイバースコープの拡大内視鏡による微小癌の発見は大変困難でしたが、なんとか微小胃癌を発見することができ学位論文を仕上げることができました。その後も微小胃癌の内視鏡診断は私のライフワークとなっています。

内視鏡治療については、当時の上部消化管潰瘍出血に対する止血法は純エタノール局注法が主流でしたが、藤が丘病院ではプロトタイプのクリップ止血装置（オリンパス）を使用しての止血法を発表してきました。さらに早期胃癌の内視鏡治療や食道・胃静脈瘤の内視鏡治療など内視鏡治療の分野での研究をメインに行なっていました。

2000年4月より癌研究会附属病院（現がん研有明病院）で9年間研鑽を積み、2009年より消化器内科の診療科長（教授）として再度藤が丘病院に勤務いたしました。2010年の4月には眞田病院長のもと、副院長として診療と病院運営に関与しました。特に眞田病院長や三邊副院長（のちにリハビリ病院病院長）には大変お世話になり、両先生が病院担当理事として病院経営の根本を教えていただいたことに深く感謝しております。

2016年に消化器内科教授を定年となったと同時に病院長に就任し、就任した年にプレストセンターを新たに開設しました。2017年には形成外科講座が藤が丘病院に移設され、昭和大学口唇口蓋裂センターが開設されました。2019年にはIMAT指定医療機関に認定され、2021年地域がん診療連携拠点病院に認定、2022年がんゲノム医療連携病院の認定を受ける事が出来ました。

病院長在任中で大きな出来事はCOVID-19の流行でした。2020年2月に横浜港に寄港したダイヤモンド・プリンセス号におけるCOVID-19の集団発生以降、当院でも外来や入院患者に対して感染対策の対応に追われました。幾度か病棟でクラスターが発生したため入院制限や病棟閉鎖せざるを得ない状況になりましたが、感染対策チームをはじめとして全職員の協力により乗り切る事が出来ました。在任中は副院長として市川度教授、佐々木春明教授、神崎浩二教授、田中邦哉教授、門松香一教授ならびに鈴木洋教授に一方ならぬご援助をいただき感謝いたします。さらに全職員の皆様のおかげで、無事に院長の任を全うすることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

藤が丘病院の再整備については徐々に進んでおります。在任中に着工まではいきませんでしたでしたが、今後も微力ながら協力していく所存ですのでよろしくお願いいたします。



学校法人昭和医科大学  
理事長室付相談役  
たかはし ひろし

高橋 寛

## 就任のご挨拶

## 救命救急センター長：宮本 和幸

はじめまして。2025年4月より、救命救急科 診療科長および救命救急センター長を拝命いたしました、宮本和幸と申します。

私は2004年に産業医科大学を卒業し、昭和大学病院・藤が丘病院・北部病院で救急医療と集中治療に従事してまいりました。

2024年10月からは5年ぶりに藤が丘病院に復帰し、懐かしいスタッフや新しいスタッフとともに、救急患者さんの診療にあたっています。また、診療に加えて、2010年から熱中症の診療と研究を続け、熱中症の病態解明や治療法の研究開発にも取り組んでいます。

当院の救命救急センターは、救命救急科の医師だけでなく、院内の出向医師の協力を得て運営されています。青葉区は横浜市の中でも高齢化が急速に進んでおり、地域住民や周辺医療機関からの救急需要は非常に大きいと感じています。救急医療は救命救急科だけで完結することは少なく、院内の他の診療科との密な連携が重要です。

今後も地域医療機関の拠点として、救命救急センターや院内の診療科と一丸となり、横浜市北部地域の医療に貢献していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



救命救急センター長  
救命救急科 教授  
/診療科長  
みやもと かずゆき  
宮本 和幸

## 就任のご挨拶

## 看護部長：樋口 恵子

2025年2月より、藤が丘病院および藤が丘リハビリテーション病院の看護部長を拝命いたしました。私は藤が丘病院に約25年間勤務した後に、昭和大学病院、昭和大学横浜市北部病院で看護次長として勤務し、保健医療学部の臨床看護学領域講師として学生教育にも携わらせていただいております。

コロナ禍を経て現在は、あらゆる物事が激しく変化し複雑かつ曖昧で将来の予測が難しいVUCA※の時代といわれています。自身の知識や経験則だけでは対応しきれない問題や課題が山積し、人々の価値観や日常生活の変化を余儀なくされましたが、変わらなかったものは昭和医科大学が目指す至誠一貫の精神を礎とした患者さん本位のチーム医療の実践でした。

今年藤が丘病院は設立50周年、2028年には本学が創立100周年を迎えるなかで藤が丘病院再整備計画も着々と進んでおります。新病院設立に向け、看護部の人材育成の課題は新しい価値観を柔軟に受け入れ、全ての看護職員を優れた医療人として育み個々が輝き続けることができるようにキャリア支援に力を注ぎたいと考えております。コロナ禍を経験した今、我々看護部が目指すのは、50年間積み上げてきた信頼と実績を糧に様々な変化に追随し、地域の皆様に安全で質の高いまごころのこもった看護をこの先の未来に向けて常に提供しつづけることです。これからも皆様からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



看護部長  
ひぐち けいこ  
樋口 恵子

※VUCAとは：下記4つの単語の頭文字をとった言葉で、目まぐるしく変転する予測困難な状況を意味します。

**V**olatility(変動性)

変化のスピードが速く、  
質・量の変動も大きい状況

**U**ncertainty(不確実性)

将来何が起こるか  
予測できない状況

**C**omplexity(複雑性)

様々な要素が複雑に  
絡み合っている状況

**A**mbiguity(曖昧性)

物事の因果関係が  
曖昧になっている状況

2025年4月1日に藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院の事務長として着任いたしました鈴木健司と申します。私は昭和大学に入職してから昭和大学病院に15年、藤が丘病院6年、横浜市北部病院5年と病院に長く勤務しておりますが、事務長として責任の重さを日々痛感しております。

藤が丘病院は1975年に開院し、地域医療支援病院、救命救急センター設置など高度急性期医療を担い、藤が丘リハビリテーション病院は1990年に開院し、総合的なリハビリテーション医療を提供する都市型リハビリテーション専門施設として主に回復期医療を担ってまいりました。今後も地域住民のみならず地域の医療機関から信頼いただけるよう人材育成と計画的な設備投資を行い、ソフト・ハードの両面を充実させ、高度で安全な医療を実践してまいります。

微力ではございますが、藤が丘病院及び藤が丘リハビリテーション病院の発展のため、職務に邁進いたしますのでご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。



事務長  
すずき けんじ  
鈴木 健司

## 受賞

## 第28回日本病態栄養学会年次学術集会 レシピコンテストで最優秀賞を受賞しました



2025年1月に開催された第28回日本病態栄養学会年次学術集会のレシピコンテストにて、リハビリ病院栄養科の松井遥管理栄養士と腎臓内科の河嶋英里医師による「ジョージアから低たんぱくの贈り物♪シュクメルリ」を出品し、最優秀賞を受賞いたしました。応募総数37作品の中から一次審査を通過し、圧倒的票数を獲得しての受賞となりました。たくさんの方々にご指導いただきながら試作と試食を繰り返し、写真撮影までこだわり抜いたリハビリ病院のチーム力が発揮された渾身の1品です。

慢性腎臓病の食事療法として行われる低たんぱく食は、肉や魚などの量を減らし、減塩をしなければならないため、見た目の満足度やボリューム感、味付けなどに課題があります。シュクメルリはジョージアの郷土料理で大手牛丼チェーンでも復刻メニューになるほどの人気料理です。本場のシュクメルリはチーズで濃厚さをしていますが、たんぱく質や食塩含有量が多いため低たんぱく食で作るのは難しいメニューです。そこで、今回出品したレシピでは、生クリームでチーズの濃厚さを表現し、味噌を隠し味として加え、ニンニクをたっぷり使い、本場さながらのパンチのある味付けに仕上げました。また、生クリームを豆乳に替えることで食事性酸負荷の軽減にも配慮したPLADO (Plant-Dominant Low Protein Diet) メニューにアレンジすることも可能です。なお、レシピの詳細は日本病態栄養学会のホームページに掲載される予定です。



写真中央左：松井遥 管理栄養士  
写真中央右：河嶋英里 医師（腎臓内科）



## ⑧ 遺伝の相談窓口「遺伝カウンセリング」

臨床遺伝・ゲノム医療センター  
臨床遺伝専門医 佐藤芳憲  
認定遺伝カウンセラー 市川真琴

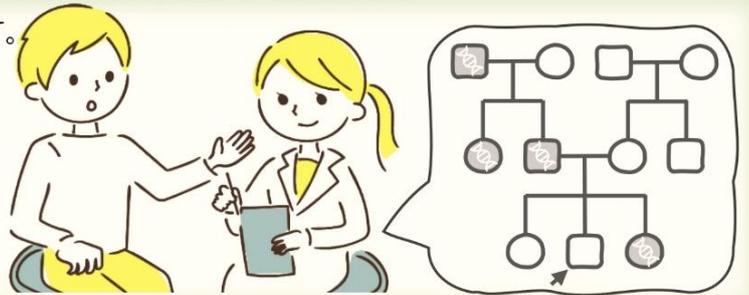
### ⑧ 遺伝カウンセリングって何？

遺伝性の病気に関する様々な相談を受ける窓口として、遺伝カウンセリングがあります。遺伝性の病気とは、生まれつき遺伝子に病気に関わる変化があることで、病気の発症リスクが高くなることを指します。遺伝性の病気が判明すると、将来どのような症状が出るのか、血のつながった方への遺伝の可能性など、今後の予測につながる場合があります。知っておくことで病気の早期発見や治療に役立てることができる一方で、不安を感じるなど、心理的な悩みを抱える方もいらっしゃいます。遺伝性の病気に対する理解や思いは十人十色です。遺伝カウンセリングでは、医師や認定遺伝カウンセラーが、皆様の悩みについてサポートを行っています。

### ⑧ どんなことを行うの？

正確な医療情報をもとに、遺伝性の病気に関する情報を分かりやすくお伝えし、ご理解を深めていただけるよう支援いたします。

その上で、ご本人の既往歴やご家族の病歴、  
遺伝学的検査の結果など  
お持ちの情報を整理し、  
個別のご相談に対応しております。



### ⑧ 誰が受けられるの？

遺伝性の病気と診断された方のほか、ご家族など様々な方も受けることができます。

<相談内容の例>

#### 遺伝性の病気と診断、または疑いがある方

- 遺伝性の病気と言われたが、よく理解ができなかった
- 自分の病気はどのように家族へ遺伝するのだろうか
- 今後どうすればいいのか、ばくぜんとした悩みがある
- 医師から遺伝学的な検査をすすめられたが、受けるのを迷っている

#### 家族が遺伝性の病気と診断された方

- 親の遺伝性の病気は、自分にも関係するのだろうか
- 自分も遺伝学的な検査を受けて、遺伝性の病気があるか確認したい
- パートナーが遺伝性の病気と診断されたが、子ども達へどう伝えればいいのか

このようなお悩みをお持ちの方へ、遺伝カウンセリングがお役に立つかもしれません。  
遺伝に関するどのようなご相談でも承っておりますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

## 呼吸器外科医が語る日本酒の話（アスペルギルスについて）

呼吸器外科 准教授/診療科長：吉田 勤

熱燗の美味しい時期も終わりになり、冬に仕込んだ新酒が出回る時期でしょうか。堅い話ではないので、お酒でも飲みながら気楽に読んでください。

世界中であらゆるお酒が造られています。お酒の作り方を極めて簡単に解説すると、糖分を酵母で醗酵してアルコールに作られています。日本酒の醸造にはお米を麴で分解して糖分とし、同時に酵母による醗酵を行う、非常に高い技術を要求されるそうです。ちなみに麴によりお米から糖への分解だけ行われたものが甘酒になります。この麴も酵母も真菌と言われ、広い意味でカビやキノコに分類されます。日本酒のみならず、味噌や醤油の醗酵に用いられるのはニホンコウジカビ (*Aspergillus oryzae*) と言われる種類のカビで、日本を代表する菌（国菌）に指定されています。

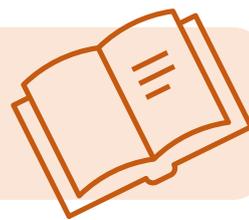
ところが、カビは良い面だけではありません。我々呼吸器外科医が手術する疾患として現代では肺癌が圧倒的に多いのですが、肺の炎症性疾患などでも手術が必要になる場合があります。肺の炎症性疾患とは肺に細菌や真菌（カビ）などが感染して発症する病気で、過去には肺結核などは手術による治療が広く行われていましたが、第二次大戦後に結核の特効薬や多くの抗菌剤が開発されたことで、手術しなくとも治る病気となってきました。しかし、肺の真菌感染の一種である肺アスペルギルス症などでは、現代でも外科的治療が必要となる場合があります。また真菌が産生する代謝産物の中にはヒトに対して毒性の強いものがあり、マイコトキシンと呼ばれています。代表的なものとしてピーナッツなどに発生する *Aspergillus flavus* が産生するアフラトキシンは、発癌性が高いことが知られています。

さて、いままでカビの良い面と厄介な面を記してきましたが、なんと発癌性物質であるアフラトキシンを産生する *Aspergillus flavus* と、日本酒の醸造などで利用されるニホンコウジカビ *Aspergillus oryzae* は、遺伝子配列もほぼ同じ近縁種なのです。しかしニホンコウジカビはマイコトキシンを産生する能力がなく、食品の加工に安全に使用されています。日本人は古来よりカビを上手に利用することで、日本古来の食文化を築いてきたといっても過言ではないでしょう。

このうちくを知ってもお酒の味が変わることはないかもしれませんが、お酒の席でのつまみがわりに思い出していただければ光栄です。

### ●参考文献

吉田勤ほか、アスペルギルス症、外科的治療、日本胸部臨床73：p1015、2014年  
佐藤之俊、塩沢哲 編 非悪性呼吸器細胞診アトラス（南江堂）2020年



### 編集後記 - 春のうらら

4月、春と聞いて思い浮かべるのが「春のうららの隅田川」の歌いだして有名な滝廉太郎 作曲の『花』ですが、3番の歌詞で「げに一刻も千金の ながめを何にたとふべき」とあります。これは春宵一刻値千金（しゅんしょういつこく あたいせんきん）という中国の故事成語に由来し、春の夜は花が香り月夜も趣があり、わずかな時間でも千金の値打ちがある という意味のようです。嬉しいことに私の父は88歳、母は81歳で大分足もともおぼつかなくなりましたが、健在で元気にしております。隅田川のほとりの深川に閑居しておりますが、故郷の岡山と私たち兄弟のいる東京の2拠点の生活を楽しんでいるようです。孫たちを伴いあそびに行くたび、大変喜んでくれます。『花』の様に桜を愛で、いつまでも元気で値千金の時を過ごしてほしいと思います。

広報・公開講座委員会 委員長：森岡 幹（藤が丘病院 産婦人科）



## 患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善内容等
<p>小型エレベーターに“解放ボタン”を設置できないでしょうか。 高齢者や点滴治療者は乗り降りに時間が掛かる為、一人が“開”ボタンを押し続ける必要が生じ、小型エレベーターのスペースが益々狭くなり、渋滞の原因になっている様に思えます。ご検討下さい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。またご不便をおかけしてしまい申し訳ございません。 構造上、小型エレベーターへのボタンの増設は困難となっておりますが、今後病院の再整備により建替えを行う際に、お寄せいただいたご意見を参考に検討して参ります。</p> <p style="text-align: right;">【藤が丘病院：管理課】</p>
<p>メリークリスマス。 今まで三分がゆでしたが、先生が今日午後から全がゆにしますとのこと。楽しみにしていましたが、何とおうどん、しかも鶏肉の柔らかいのが沢山のっていてお野菜など薄味のおつゆもお腹に優しく本当に感動しました。美味しかったです。ありがとうございます。いつも食事楽しみです。</p>	<p>食事楽しみにしていただき、ありがとうございます。今後も満足していただけるよう食事提供に努めて参ります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【藤が丘病院：栄養科】</p>
<p>OT A先生食べる事の大変さ、教えてくださり本当にありがとうございました。 水分しっかりとって食べすぎたら明日の自分がしっかりとがんばろうと思います。 PT B先生いつも声をかけてくださりありがとうございます。 入院生活たのしくすごせました C先生ライナーの付け方教えていただきありがとうございます。 D先生哲学的な授業楽しかったです。石橋しっかりと渡ります。 E先生いつかスタジアム西友(?)で会えるのたのしみにしてます。 F先生、松葉杖ありがとうございます。11キロバーベルたのしかったです。 G先生、H先生ありがとうございました。 I先生、親身になってくれてありがとう Jさんありがとうございました。</p>	<p>多くのスタッフへのお褒めの言葉をいただきありがとうございます。 昭和医科大学はチーム医療を大事にしています。多くのスタッフが、患者様が前向きに治療やリハビリに取り組めるような対応ができたことをうれしく思います。患者様自身が懸命に治療やリハビリに向き合っていたことで、私たちも頑張ろうと思えました。また、患者様から多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございます。</p> <p style="text-align: right;">【リハビリテーション病院：リハビリテーションセンター】</p>
<p>リハビリテーション病院にもATMを設置してください。</p>	<p>この度はご不便をおかけし申し訳ございませんでした。ATMにつきましては、当院だけでなく各銀行の方針もあり、設置することが難しい状況です。 今後も便利な環境づくりに向けて検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【リハビリテーション病院：管理課】</p>